

希望郷いわて国体2016

東日本大震災 復興の架け橋

恩返しへ力の限り



沿岸被災地でも熱戦

セーリング競技会場の宮古市神林のリアスハーバー宮古は、東日本大震災で管理棟や艇庫、部室が全壊した。2011年8月に予定していた北東北インターハイ開催を断念した経緯もあり、関係者は地元で迎える国体を心待ちにしている。

リアスハーバーは1999年、本県で開催した全国高校総体に合わせて完成した。震災で艇庫にあったボートやシーカヤックが流失するなど壊滅的な被害を受け、2011年の北東北インターハイセーリング競技は秋田県に会場を移して開催した。

震災後、高知県から仮設クラブハウスが寄贈されたほか、全国からヨットやヨット用ウェアなどの支援を受けた。国体を見据え、災害復旧工事は14年5月に完了し、マリンスポーツの拠点が復活した。

県ヨット連盟所属のレース委員会メンバーは大会本番に向け、海上に設置するマーク(目的地)のシミュレーションを実施。正しい位置にマークを打ち、風向きに対応して変更することが求められ、

セーリング/宮古市

さまざまな風向を想定して準備を進めた。

周辺には実施本部やプロテスト審問所などが入る仮設ユニットハウス、出艇や着艇用の浮桟橋などが設置され、大会本番を待つばかりになっている。

県ヨット連盟の松下寛理事長は「全国から多くの方の支援をいただき、ヨットができる環境が整いつつある。海のスポーツをしっかりとやることで、恩返しと復興の証になる」と力を込める。



津波で甚大な被害を受けた宮古市のリアスハーバー宮古=2011年4月1日



円滑なレース運営のため、マーク設置のシミュレーションを行う関係者



本番を間近に控え、宮古湾の風に合わせて最終調整を行うセーリングの選手ら＝30日、宮古市・リアスハーバー宮古

熱戦さあ最終章

希望郷 2016
いわて
国体

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」の本大会は1日、北上市の北上総合運動公園陸上競技場で総合開会式が行われ、全国の選手団、県内の出演者ら約1万1千人が参加して46年ぶりに本県を舞台とする国民スポーツの祭典が幕を開ける。震災被災地では初の本大会。21年ぶりとなる完全国体は最終章を迎える。開幕前日の30日、各県選手は現地で最終調整に励み、同公園では受け入れ準備が整い、競技、運営とも本番を待つばかりとなった。
【関連記事15、22、23、26、27面】

本大会きょう開幕

2日からレースが始まるセーリング。会場のリアスハーバー宮古(宮古市)には全国から約5800人が集まった。選手は艇や帆の重量などを計測後、海上に艇を出し、宮古湾の波や風を確かめた。成年女子レーザーラジアル級に出場する地元宮古市の小成海舞選手(県立大宮古短大部1年)

艾、内村がV狙う



きょうの県勢

県勢のトップを切り、重量挙げ成年男子に出場する56kg級の艾幸太(県スポーツ振興事業団)、62kg級の内村湧嬉(岩谷堂高教)がダブル優勝を狙う。国体はスナッチ、ジャークの2種目で争う。二つを合わせたトータルは競技得点対象外。艾は前回の和歌山国体でスナッチ、ジャークともに3位。得意のジャ

は「岩手のためにも全力で頑張りたい」と誓った。北上総合運動公園では、物産や企業PRブースが並び「わんこ広場」の出店準備や式典の音響確認などが進められた。佐々木製菓(一関市)は南部せんべいの搬入、陳列に取りかかり、大貫達弥課長代理は「全国に岩手の魅力を発信するいい機会。幅広い世代にPRしたい」と思いを込めた。総合開会式は午前11時からオープンングイベントに続き、天皇、皇后両陛下が出席される中、午後1時51分開始。沖繩を先頭に南から北へ各選手団が入場行進し、最後にボート成年男子の佐藤翔選手(日大4年)を旗手に本県選手団約330人が登場する。ともにオリンピックの陸上成年男子高橋英輝(富士通)、ホッケー成年女子小沢みさき(東北銀行)の両主将が選手宣誓を務める。1日から熱戦もスタートし、トップを切って重量挙げが行われる。本大会は、全国47都道府県の選手団約2万2900人(会期前の水泳を含む)が参加。11日までの11日間、県内24市町村で36正式競技

重量挙げ 成年男子 140kgの自己ベストに近づけるか。内村も前回2位のジャークで頂点を狙う。リオデジャネイロ五輪男子56kg級出場の高尾宏明(宮崎・自衛隊体育学校)、同62kg級出場の中山陽介(山梨・笛吹市役所)も顔をそろえるが、最初の試技をしっかりと成功させ流れに乗りたい。優勝ラインの150kgに挑戦し、地元の声援を力に挙げたいところだ。成年男子69kg級にはリオ五輪男子62kg級で4位に入った糸数陽一(東京・警視庁)が出場する。